

12月3日知事記者会見概要

本県では10月下旬以降、感染者が再び増加傾向にあり、12月3日、過去最多となる、39名の感染者の発生が確認されました。

現在の感染者229名のうち、軽症又は無症状の方が205名、約9割を占めています。本県では感染した方すべてに入院又は宿泊施設での療養をお願いしています。

現在入院されている方は182名、用意している病床467床に対し、占有率は約4割となっています。うち27床を重症対応病床としており、6床が埋まっている状況です。昨日に比べ入院者は増えているものの、重症者は増えておりません。

宿泊施設については108室用意しており、現在47名の方に利用していただいています。

入院病床と宿泊施設を合わせた状況を常にチェックし、あふれることのないようにしたい。

最近では、大阪関連、特に大阪市内での1次感染、また家庭内や友人と飲食時の2次感染が目立っていることから、県民の皆様は、特に感染の多い類型に注意し、以下のことを心がけてください。

- ・ 飲食・買い物などのために、大阪市に行くのを控える
- ・ 大阪などで感染リスクが高い場所に出入りしたときの帰宅後の対策（すぐに着替え・シャワー、食事・寝室は別々に）
- ・ 飲食やカラオケでは、風邪症状や感染したリスクがある場合の参加自粛

引き続き「うつらない・うつさない」ためのご注意をお願いいたします。

県では、引き続き、感染経路の類型を明確化し、類型に応じた注意を促すことにより、感染防止対策に取り組むとともに、感染された場合には確実に入院・宿泊療養を行っていただくことにより感染防止と重症化予防に努めてまいります。